



[対象]

小・中学校

全教科等

受付期間

2024年 2024年
8月1日(木)～9月2日(月)
15時送信完了分まで

助成

最優秀校
300万円

全応募校に審査講評と
ソニー製品等を贈呈

後援



文部科学省

全国都道府県教育長協議会
全国連合小学校長会
全日本中学校長会



公益財団法人
ソニー教育財団

科学が好きな子どもを育てる

教育実践 論文募集

2024年度 ソニー子ども科学教育プログラム **小・中学校向け**

「科学が好きな子どもを育てる」ための教育実践と計画を論文にまとめて応募してみませんか

子どもたちの生き生きとした学びと主体的な探究の姿を通して、個性ある実践、他校の参考になる取り組みについてまとめた論文を募集しています。応募いただいた全ての学校に助成などの支援をしています。

- 論文テーマ 「科学が好きな子どもを育てる」
- 対象 国・公・私立の小学校、中学校(特別支援学校等を含む)
- 内容 主題にもとづく教育実践と計画
- 募集期間 2024年8月1日(木)～2024年9月2日(月)15時 送信完了分まで
- 応募方法 ソニー教育財団ウェブサイトの専用応募フォームから送信
- 賞 [最優秀校]300万円とソニー製品等 [優秀校]50万円とソニー製品等 [奨励校]10万円とソニー製品等 [教育みらい賞]15万円とソニー製品等
- 発表 2025年1月中旬以降 当財団ウェブサイトにて発表予定
- 審査委員会 [審査委員長] 杉野 剛 独立行政法人日本学術振興会 理事長
[審査委員] 清原 洋一 学校法人秀明学園 秀明大学 学校教師学部 教授
50音順 熊平 美香 一般財団法人クマヒラセキュリティ財団 代表理事
西谷 清 公益財団法人 ソニー教育財団 元理事長
山下 修一 国立大学法人千葉大学 教育学部 理科教育 教授
- 後援 文部科学省
全国都道府県教育長協議会、全国連合小学校長会、全日本中学校長会

募集内容

主題

「科学が好きな子どもを育てる」

内容

主題にもとづく教育実践と計画

子どもたちの主体的で生き生きとした学びと科学的な思考をもった探究の姿を通して、個性ある実践、他校の参考になる取り組みについてまとめた論文を募集します。全教科等(教育課程内の活動)が対象になります。

対象期間

2023年9月から2024年8月までの実践と、2024年9月から2025年8月末までの計画

2023.9月	2024.4月	2024.9月	2025.8月
2023年9月～2024年8月 までの 実践 (在任校での実践)		9 月 2 日 締 切	2024年9月～2025年8月末 までの 計画

記述できる実践は在任校での実践に限ります(前任校での実践は対象外)

助成内容

審査講評とソニー製品等を全応募校へ贈呈

奨励校の中から
個性的な論文に
贈られる賞です

新設

最優秀校

教育助成金

300万円

ソニー製品等*1

優秀校

教育助成金

50万円

ソニー製品等*1

奨励校

教育助成金

10万円

ソニー製品等*2

子ども科学賞

ソニー製品等*3

教育みらい賞

教育助成金

15万円

ソニー製品等*2

*1…4K液晶テレビ、ビデオカメラ、ワイヤレススピーカー等から1つ。 *2…ワイヤレススピーカー *3…ICレコーダー、ワイヤレスポータブルスピーカー等から1つ。
(ソニー製品等は2023年度実績です。2024年度は変更になる場合があります。)

審査

審査委員会

審査委員長	杉野 剛	独立行政法人日本学術振興会 理事長
審査委員	清原 洋一	学校法人秀明学園 秀明大学 学校教師学部 教授
50音順	熊平 美香	一般財団法人クマヒラセキュリティ財団 代表理事
	西谷 清	公益財団法人 ソニー教育財団 元理事長
	山下 修一	国立大学法人千葉大学 教育学部 理科教育 教授

審査の観点

配点割合

60%

教育実践

科学が好きな子ども像

ページ枚数目安:10~14ページ

貴校が考える「科学が好きな子ども像」と、それを実現するための**現在の課題**が明確に記載されている

課題解決のために、貴校が独自に考え、工夫している研究構想や手立てが記載されている

「教育実践」において、**具体的な「子どもの姿」や「子どもの変容」**が実証的に記載されている

授業等、学校全体や地域と連携した「科学が好きな子ども像」に結びつく活動が記載されている

配点割合

40%

教育計画

教育実践の成果と課題の考察

ページ枚数目安:5~8ページ

「教育実践の成果と**新たな課題・考察**」が子どもの姿を通して明確に記載されている

成果の向上や、新たな課題を解決するための**今後の「教育計画」**が記載されている

連続応募の場合

上記に加え、前年度の課題や計画に対する取り組み、前年度からの内容の深まりも評価の対象とします。

上位入選候補校については、審査の過程で実践状況の確認のため訪問する場合があります。

募集要領

受付期間 2024年8月1日(木)～2024年9月2日(月) 15時 送信完了分まで

応募資格 国・公・私立の小学校、中学校（特別支援学校等を含む）

- ・義務教育学校、中等教育学校を含みます。
- ・学校全体、あるいは学年・学級・教科部会単位で応募できますが、応募は1校から1件のみです。
- ・2023年度の最優秀校は、今年度は応募できません。

応募方法 当財団ウェブサイトのトップページより論文応募サイトへユーザー登録のうえログインし、応募フォームより論文(PDF)をお送りください。

作成規定

A4 A4判 本文のみページ番号を付記

「本文」について

【ページ数】	15～20ページ以内
【文字サイズ】	[本文] 10.5ポイント以上 [図表] 8ポイント以上
【行間目安】	図表なしで1ページ40行以内となる行間
【ページ番号】	本文のみページ番号付記
【実践・計画】	教育実践には「年・月」を明記 教育計画には「年度」を明記
【参考・引用文献】	本文中に明記
【研究代表者名・共同執筆者名】	最終ページに明記

表紙
・表題
・学校名
・学校長名
・PTA会長名
(表紙・目次はページ番号なし)

目次

本文
15～20ページ以内
ページ番号

作成にあたって

- ・「対象期間内の実践」は在任校での実践に限ります。
- ・すでに他で発表している論文と概ね同じ記述の論文は、審査対象外とします。
- ・過去の応募論文からの転載(文章・写真等)は、減点あるいは審査対象外とします。これらの転載が必要な場合は、本文中に論文応募時の年度を記載してください。
- ・本文中の図表などで読み取れないもの(サイズが小さい、画像が不鮮明等)は、審査対象外とします。

入選発表

2025年1月中旬以降 ソニー教育財団ウェブサイトにて発表予定。

成果発表

最優秀校と優秀校には、受賞の翌年度に以下の成果発表を行っていただきます。

最優秀校 ・論文の全文公開(写真を含む)
・2025年度に「子ども科学教育研究全国大会」を開催

優秀校 ・論文の全文公開(写真を含む)
・2025年度「子ども科学教育研究全国大会」のポスターセッションにて発表

・教育みらい賞受賞校にも論文公開やポスターセッション等による実践の公開について相談をさせていただくことがあります。

ご応募いただく論文および関連情報について、以下の点をあらかじめご理解・ご了承の上、ご応募ください。

論文、学校名、所在地、研究内容などの関連情報は、当財団が、成果の還元、普及や、広報活動のために使用、公開させていただきます。論文を本プログラム以外で使用、公開、出版、掲載等することを希望される場合には、事前に当財団にご連絡の上、許可を得ていただきます。応募情報(論文含む)は、当財団が、本プログラムに関する審査結果の通知、各種行事の案内、その他の連絡・確認のために使用させていただきます。ご応募いただく論文は、関連するすべての権利(本文および使用された写真等にかかる著作権、ならびに上記の当財団による使用等を許諾する権利を含むがこれに限らない)を、応募者が保有しているものに限ります。

応募方法

締切は2024年9月2日(月)15時送信完了分まで



論文をPDFファイルにして、応募フォームよりお送りください。
応募完了後、送信した情報の変更はできません(論文の差し替え含む)。
内容に不備がある場合は受理できません。また、論文は返却しません。

応募フォームは
2024年8月1日公開予定

応募フォームは
一時保存が可能!

まずは
ユーザー登録!

論文を応募するには
ユーザー登録が
必要です

論文の送信完了は
メールで
お知らせします

事務局との連絡は
論文応募サイトの
れんらく帳!

応募フォームは
入力項目が多数あります
時間に余裕をもって
ご応募ください

科学が好きな子どもを育てる実践に取り組んでいます

2023年度最優秀校

福島市立三河台小学校/福島県



テーマ 自らの問題を科学的に解決するプロセスを
楽しむ子どもの育成

刈谷市立刈谷南中学校/愛知県



テーマ 共創する生徒の育成2023
—多様な他者と共によりよい考えを創る—

2023年度優秀校

郡山市立明健小学校/福島県

福島大学附属小学校/福島県

つくば市立竹園西小学校/茨城県

つくばみらい市立伊奈中学校/茨城県

旭市立干潟中学校/千葉県

千葉市立稲毛国際中等教育学校/千葉県

(学)新渡戸文化学園 新渡戸文化小学校/東京都

横浜市立立野小学校/神奈川県

胎内市立胎内小学校/新潟県

射水市立片口小学校/富山県

北九州市立熊西小学校/福岡県

ソニー教育財団について — 学校・園の先生を応援しています —

ソニー創業者 井深大は、次世代を担う子どもたちの科学教育の充実のため、1959年に学校への助成活動を開始しました。その後、井深の関心は乳幼児期の教育と人の心を育てることの大切さへと広がりました。井深の志を受け継ぐ事業を継続的に発展させるため「ソニー教育財団」となり、60年以上続く論文事業の他、優れた教育・保育実践の公開や発信、未来志向の教員・保育者向け研修会、子どもに科学の原理を伝える「ものづくり教室」など、教育現場と未来を生きる子どもたちを支援するさまざまな活動を行っています。



ソニー教育助成[論文]



幼稚園・保育所・認定こども園、小・中学校、および小・中学校の教員から論文を募集し、教育助成金とソニー製品等を贈呈しています。論文には【保育実践論文】、【教育実践論文】、【未来へつなぐ教育計画】の3種類あります。入選論文の優れた実践を、研究発表や公開授業・保育の開催、ウェブサイトや冊子での事例紹介を通じ、広くみなさまに発信しています。



先生方への支援

「教育実践論文」で最優秀を受賞した学校を会場に「子ども科学教育研究全国大会」を開催しています。優れた取り組みを研究発表や授業公開、研究協議会などを通して共有し、地域や校種を超えて教員同士が交流し、意見交換できる場となっています。また、中堅の先生方を対象とした「ミライティーチャーズアカデミー」では、「未来を支える子どもたちのために、教育改革に取り組むリーダーを育成する」ことを目的に、多彩な講師陣と社会人サポーターと共に1年間に渡りチーム活動を展開しています。

